

# 小児科に常勤医が着任!

## 市立病院小児科

医師 <sup>みうら</sup>三浦 <sup>ゆりか</sup>優利香 さん



市立病院では、平成27年に小児科の常勤医が不在となつて以降、医師確保に向けさまざまな取り組みを行ってきました。今月は、4月に旭川医科大学の小児科医局から迎えた小児科常勤医の三浦優利香さんに、小児科医療への思いなどについて聞きました。



「深川は明るく、穏やかな雰囲気のままだと印象に残っていました。常勤医がいないと聞いていたので、力になりたいと思いました」と市立病院での勤務を希望した理由を教えてくださいました。三浦さんは、旭川医科大学卒業後、大学病院などに勤務し、市立病院での勤務は、平成22年以来2度目です。4月の着任後、当時の患者が大人になり病院を訪ねてくれたそうで「患者の成長や活躍を見られることが最高に幸せ。子どもの病気の症状を和らげるなど、より良い状況で成長していただけるよう手伝いすることが小児科医のやりがいです」と笑顔を見せてくれました。

小児科は、子どもの体の総合的な診療科で、診察する内容は感染症や皮膚疾患など多岐にわたります。診察で心掛けていることを伺うと「子どもは自分で症状を訴えることができない場合もあるので、まずは診察を丁寧に行い、しっかり行った上で、子どもを一番そばで見ている保護者の話をよく聞いて、症状を把握するように努めています。ま

た、子どもと保護者の気持ちに寄り添うことを大切にしながら、一人ひとりに合わせた治療方針を提案していき」と話してくれました。



現在、小児科への入院が必要となった場合には、旭川市など市外の医療機関に入院することになります。自身も子育ての経験がある三浦さんは「市外での入院は子ども自身だけではなく保護者にとっても負担が大きく、とても心苦しく思っています。将来的には短期間の入院だけでも受け入れられるように、環境の整備に取り組んでいきたい」と今後の目標を語ってくれました。

4月から、小児科の医師担当表が下表のとおり変更になりました。

### ★小児科の医師担当表

受付時間	月	火	水	木	金
午前 (8:30~11:00)	三浦	三浦	出張医	三浦	三浦
午後 (1:00~4:00)	三浦	三浦	出張医*	三浦	三浦

\*予防接種外来も実施

★問合先 市立病院管理課総務医事係 ☎22-1101



### 三浦医師に聞きました! 子どもの感染症対策3つのポイント

- ①手洗い ②マスクの着用(2歳以上) ③家族からの感染を防ぐ

子どもの感染症対策も、手洗いとマスクの着用が基本です。マスクはウイルスの付着した手で鼻などを触ってしまうことによる感染を減らすことができるので、手作りの布マスクでも十分な効果があります。子どもの新型コロナウイルス感染例は、家族から感染したものが多く、家族の感染症対策が子どもの感染予防にもつながります。今後、インフルエンザなどの感染を防ぐためにも、この機会に手洗いとマスクの着用を習慣にしましょう。

